

(様式1)

個別施策評価調書

(平成30年度実績)

主管部	教育局	
関係部		

基本施策	1-3 スポーツと文化・芸術を振興する
個別施策	③ 文化財保護の推進
個別施策の方向	先人から受け継いできた、つくば市の多種多様な歴史・文化遺跡をこれからも後世に伝えるため、市民がこれらに触れられる場の拡充に取り組む。

決算及び事業費内訳 (単位：千円)										
H27年度	決算	事業費	356,366	人件費	21,747	事業コスト	378,113			
	事業費内訳	国庫支出金	218,380	県支出金	0	地方債	63,800	その他特財	169	一般財源
H28年度	決算	事業費	254,044	人件費	22,304	事業コスト	276,348			
	事業費内訳	国庫支出金	187,205	県支出金	0	地方債	29,200	その他特財	8,398	一般財源
H29年度	決算	事業費	224,387	人件費	16,322	事業コスト	240,709			
	事業費内訳	国庫支出金	174,743	県支出金	0	地方債	29,100	その他特財	136	一般財源
H30年度	決算	事業費	238,242	人件費	22,624	事業コスト	260,866			
	事業費内訳	国庫支出金	185,653	県支出金	0	地方債	29,000	その他特財	5,646	一般財源

市民満足度 (市民意識調査)	H27年度	H29年度	前回比
つくば市の現状やまちづくりへの取組について	30.0%	30.0%	0.0%
18) 文化財の保護			

平成30年度つくば市行政経営懇談会 評価結果		
総合評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。
提言	<p>文化財等の保存、調査だけでなく、教育や地域づくりに活用することを工夫するほか、実際調査した結果の分析や公表等をわかりやすく市民に伝えるように進められたい。</p> <p>また、古代や中世の遺跡だけでなく、近現代も含めた形で、広く文化財というものを捉えていかれたい。</p>	

施策の 取組概要	<p>開発に伴う試掘・確認・本発掘調査や巨樹・古木等の悉皆調査、小田城跡・金田官衙遺跡の両国指定史跡における土地買収による保存事業を実施する。</p> <p>市民の関心を高めるための活用事業として、各種講座や催事を開催するとともに、小中学生に向けて夏休み自由研究相談を行う。</p> <p>「つくば市文化財保存活用計画」を策定する。</p>
施策の 成果	<p>桜川以東の筑波地区を対象とした巨樹・古木等の詳細調査は134件と目標の75件を上回り、多くの新資料が蓄積できた。</p> <p>さらに、金田官衙遺跡6,773.77㎡、小田城跡748㎡を公有化し、保存を進めたほか、復元整備した小田城・平沢官衙の歴史ひろばでは約7万人の来場者、約1万人の催事参加者があり、歴史や文化財への市民の関心を育むとともに、観光等の活性化に寄与した。</p> <p>また、ちびっ子博士事業の対象施設を2館から4館に増やしたほか、学校への説明・講座の開催により、児童、生徒等が郷土に関心を持つ機会を提供した。</p>
課題と 改善目標	<p>大きな課題は、調査・保存・活用間の連携を強化し、市民に文化財やその価値を広く知ってもらい、未来に伝えていくことである。その対策の一つとして、市民が各事業に参画することで文化財への関心を広め、ボランティア等として活動してもらう「文化財サポーター」制度を新設する。さらに、展示施設の計画的な修理・再整備は早期に取り組む必要があり、文化財保管施設の確保等を進める。また、「つくば市文化財保存活用計画」策定の中で結論が出なかった統一的展示施設の要否等について、継続して検討していく。</p>

自己評価（所管部署評価）		
自己評価	B	施策の成果は確認できるが、一部改善が必要であると判断される。